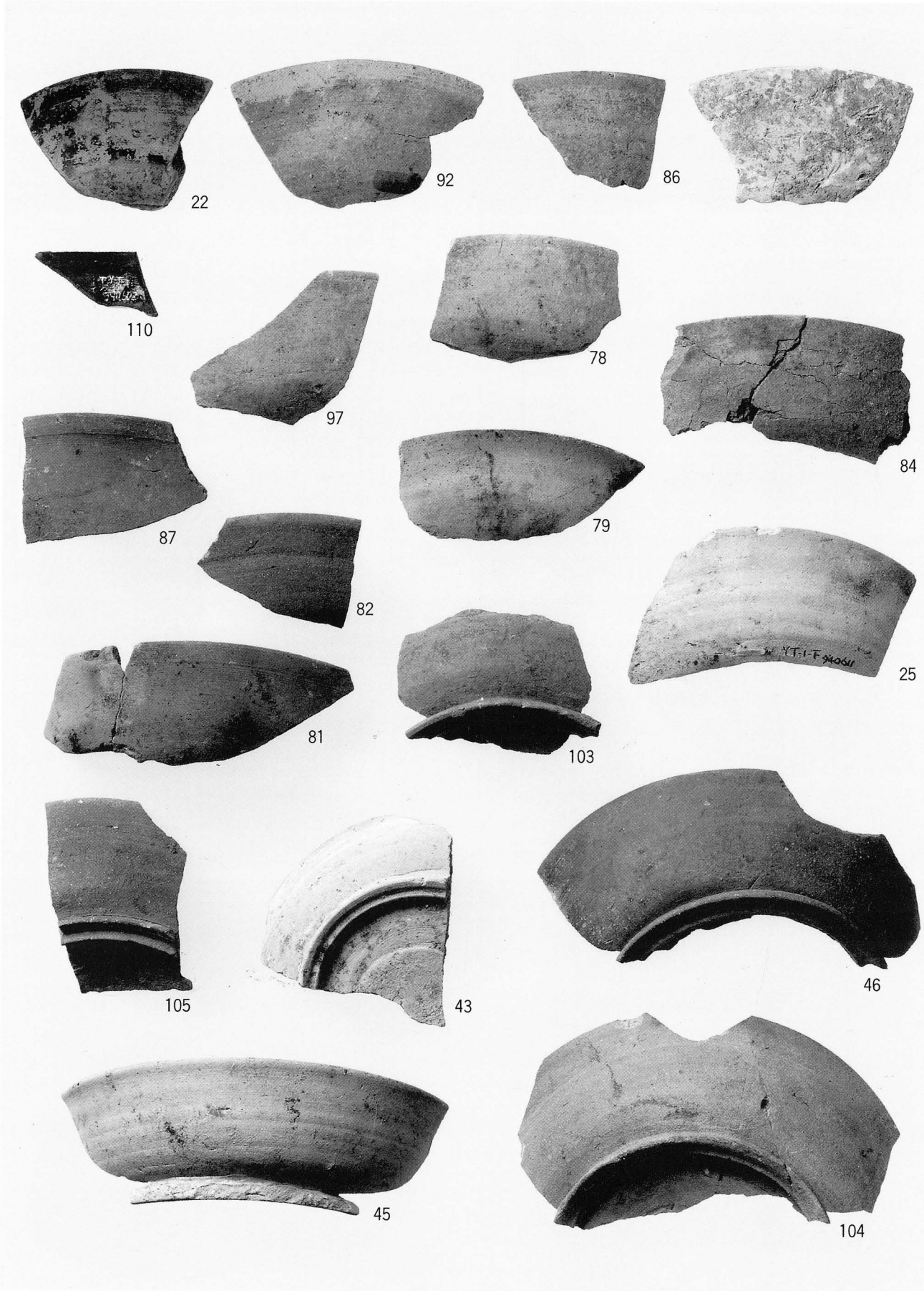
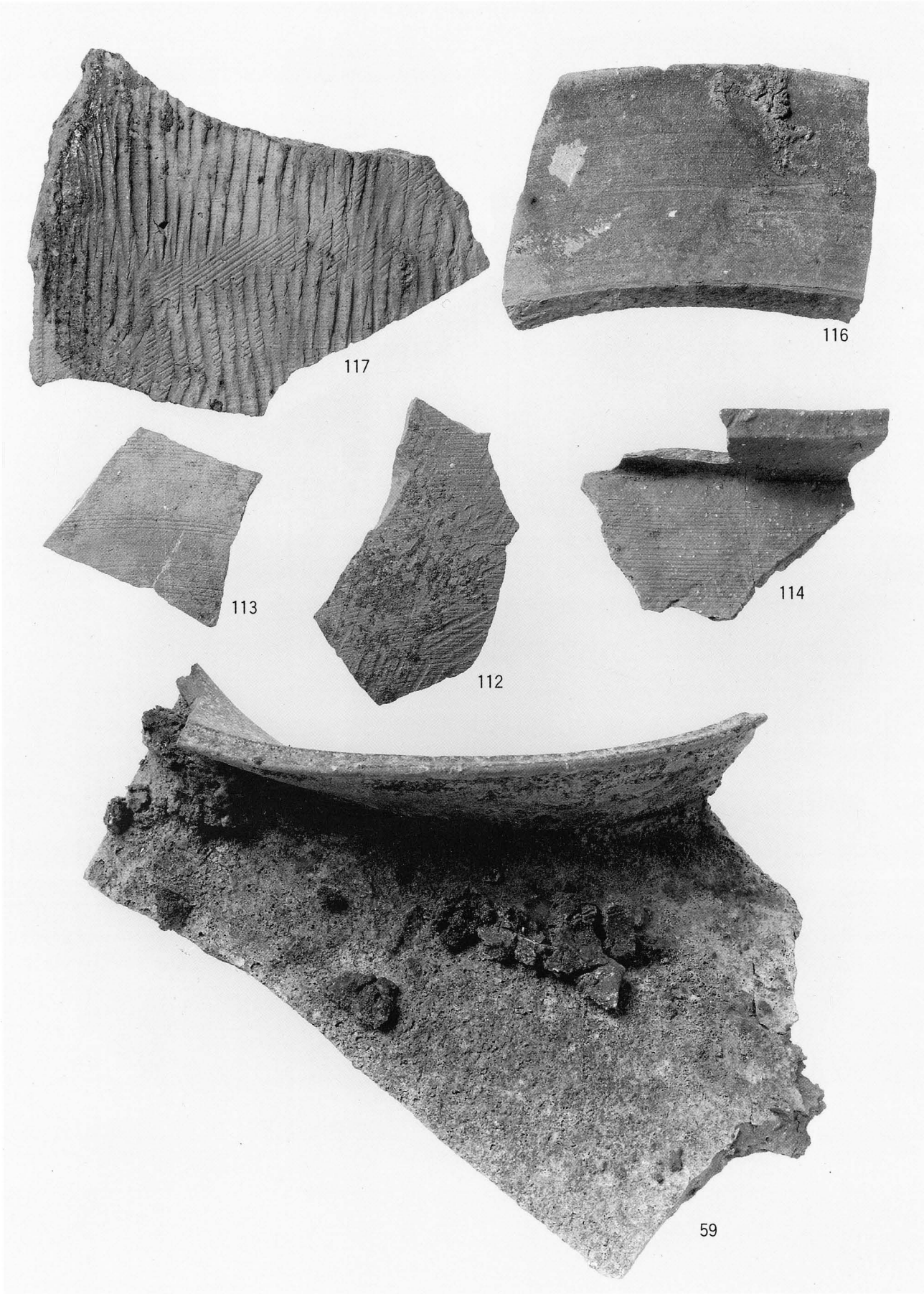


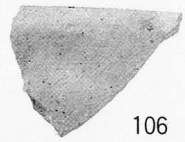
窯体外・灰原出土遺物（3）杯B



窯体外・灰原出土遺物（4）甕

108

107


106

54

56

109

窯体外・灰原出土遺物（5）仏鉢・横瓶・土師器

報　告　書　抄　録

ふりがな	やすかわてんのうかまあとはっくつちょうさほうこく
書名	安川天皇窯跡発掘調査報告
編著者名	野原 大輔　(砺波市教育委員会 生涯学習課　文化芸術係) 福沢 佳典　(富山大学人文学部人文科学研究科文化構造研究専攻) 間野 達　(　同　) 久保 浩一郎 (富山大学人文学部国際文化学科)
編集・発行機関	砺波市教育委員会
所在地	〒932-0393　富山県砺波市庄川町青島401番地　TEL 0763－82－1904
発行年月日	平成１７年３月３１日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査原因
やすかわてんのうかまあと	とやまけん となみし やすかわてんのう	162086	208099	36° 36′ 51″ (36° 36′ 40″)	137° 00′ 50″ (137° 1′ 0″)	土砂採取
安川天皇窯跡	富山県砺波市 安川天皇269			調査面積	調査期間	
				40m²	1998.8.29～ 1998.9.26	
				40m²	1999.5.24～ 1999.6. 4	

遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
安川天皇窯跡	須恵器窯	奈良時代	須恵器窯 (1基)	須恵器 土師器	梅檀野窯跡群で最も早い時期(8世紀中葉)の窯跡と考えられる。

調査要約	梅檀野窯跡群中で最も古段階と考えられる安川天皇窯跡の調査である。８世紀後半から10世紀まで操業していた梅檀野窯跡群の生産開始期にあたる８世紀中葉に操業。窯体構造や器種構成において８世紀第３四半期の福山窯などには技術的に後続・継承せず、梅檀野窯跡群や砺波郡内でも単独的な要素をもつ。諸特徴から能登の正友ヤチヤマ窯と多くの共通性が認められる。窯跡群の成立には、８世紀中葉に砺波平野東部に成立したとされる東大寺領荘園（石粟荘・伊加流伎荘・井山荘）が背景にあると考えられ、本遺跡も荘園開発の契機となった拠点の小規模集落に製品を供給するための窯と推定される。

※ 緯度・経度は、世界測地系に基づく値。（　）内の数値は日本測地系の値。

EXCAVATION REPORT
OF
THE YASUKAWA-TENNOU Sue ware kiln site

Copyright © Tonami Prefectural Board of Education

401 Aoshima shogawa-machi Tonami-City Toyama 932-0393,Japan

No parts of this publication may be reproduced or copied by any means
without prior permission of the copyright owner.

本書の仕様

●判型……Ａ４判
●頁数……８９頁
●組版……写真植字（13級明朝基本）
●印刷……オフセット印刷
●製版……巻頭カラー図版　１７５線
　　写真図版175線で製版
●用紙……表　紙　　アート紙　135kg
　　カラー図版　アート紙　93.5kg
　　本　文　　書籍用紙　70.5kg
　　写真図版　　アート紙　93.5kg
●製本……左無線綴じ
●表紙加工‥マットP.P.（ポリプロピレン）加工

安川天皇窯跡発掘調査報告

2005年３月31日発行

発　行　砺波市教育委員会
〒939-1398　富山県砺波市庄川町青島401番地
TEL（0763）82－1904　　FAX（0763）82－3521

印　刷　有限会社明和印刷
〒939-1507 富山県南砺市二日町2196番地
TEL（0763）22－4881　　FAX（0763）22－4880

Printed in Toyama.Pref,Japan